

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。

2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

5 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

6 タブレット活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし、適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。

9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

⑤特別支援教育の推進

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

11 共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

⑥子どもたちの身近な安全対策の充実

12 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

⑦最適な学習環境の整備

13 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

⑧家庭・地域社会との連携強化

14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

本校の教育

16 すずんで気持ちのよいあいさつや返事ができる子ども

子どもたちは、気持ちのよいあいさつや返事をしていますか。

17 主体的、協働的な学習

学校は、子どもたちが話し合い、意見を発表しあうような授業づくりを進めていると思いますか。

18 安心・安全な学校環境づくり

学校は、命や安全に関する教育活動に取り組んでいると思いますか。

学校関係者評価

○日頃から大江小学校の子どもたちのために、それぞれの先生方が持ち味を發揮されていることに感謝しています。本年度もコロナ感染のために、学校を訪問する機会は少なかったですが、子どもたちの活躍を見て、学校の取組をイメージすることができます。児童数が年々増加する中に、以前とは違った教育環境になると思いますが、大江小のよさを今後も大切にされることを祈念しています。今後も心の教育を基盤におかれ、主体的に活動する笑顔にあふれた学校づくりに取り組まれてください。

○一年生の下校時に見守り活動に参加していますが、毎回かわいい一年生と会話できることは、我が子が一年生だった頃を思い出し、懐かしい気持ちになりました。本当に良い経験をさせていただきました。

○残念ながら、校内の様子を見る機会は1回でしたが、コロナ禍の中、先生方のご苦労は大変なことと思います。通学時の子どもたちの様子は落ち着いて見えます。また、低学年時の明るさはこちらも元気をもらえます。

○学校便り「大江の風」をいつも楽しみにしております。コロナ禍で児童のみなさんの日頃の活動を直接見る機会はあまりありませんが、「大江の風」を通して、児童のみなさんが明るく楽しく仲良く元気よく活動されている様子がよく伝わってきます。ありがとうございます。

また、毎朝児童の皆さんが友達と楽しそうに通学している様子や友達と待ち合わせて通学している様子、朝のあいさつ「おはようございます」の際に、最近では「お仕事頑張ってください」や「毎日、ありがとうございます」等、児童のみなさんから温かい言葉をいただき、こちらの方が元気をもらっております。これも校長先生をはじめ大江小の先生方が日頃から大江小の児童のみなさんに対して、人を思いやる気持ちの大切さをご指導されておられるからだと思っております。これからも地域の一人として、微力ですがお役に立てればとおもっております。引き続きよろしくお願い申し上げます。

○コロナ禍で、学校を訪問する機会もすっかり少なくなりましたが、今は学校便りを仕事場のパソコンで見て、学内の様子が手に取るように分かるようになりました。ブックマークしていますので、いつでも手軽に開くことができるようになり便利です。授業参観をさせていただいたときにも感じましたが、タブレット学習では、児童たちの興味津々の様子がよく伝わってきます。ただ、教室内でもICTが得意な児童となじみの少ない児童との格差の平均化は難しい課題かなと思いました。一方では、得意な児童の才能をどんどん伸ばすくみもまた必要になってくると思われます。例えば、部活動とか。ともあれ大江小の児童たちは、なんと恵まれていることかと先生方に感謝。